

YA21338a

| 年度 | 配当 | 区分 | 科目名 | 担当教員 | 回数 | 単位 |
|------|----|------|---------|------|----|----|
| 2021 | 前期 | 応用実践 | 会計学研究指導 | 山本宣明 | 15 | 2 |

授業の目的

本授業は財務分析の論文作成を進めるために実施されます。
 本授業と論文作成を通じて、いわゆる経営分析が遂行できる能力を養成することを目的としています。

授業の到達目標

前述の本授業の目的を達成するため、具体的には履修者各自との議論を通じて分析対象を確定し、データの作成→本論の作成→結論と序論の作成→全体の完成へと順次進むことを目標とします。租税法研究指導のマイルストーン管理と同じく、執筆プロセスを計画化して適宜フォローしていきます。

本授業は大きく分けて「本論クラス」と「完成クラス」に分かれます。

本論クラスの到達目標は論文の半分程度以上の作成、具体的には第4章までの作成を目指します。

完成クラスの到達目標は論文全体の完成となります。具体的には第5章、第6章、結論と序論となります。

履修条件

修士論文の作成・完成・合格は大変です。体調にくれぐれも気をつけながら履修をお願いします。

授業計画

| 回 | 授業内容 | 日程 |
|----|--|--------|
| 1 | 本論クラス：ガイダンス（進め方や発表の順番の決定） 完成クラス：初回から個別指導・協議 | （別途通知） |
| 2 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 3 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 4 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 5 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 6 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 7 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 8 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 9 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 10 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 11 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 12 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 13 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 14 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 15 | 各自の進捗状況を精査します。 | （別途通知） |
| 試験 | レポート | |

使用教科書／評価方法等

| | |
|------|--|
| 教科書 | 桜井久勝『財務諸表分析』第8版 中央経済社 2020年 林總『経営分析の基本』日本実業出版社 2015年 |
| 参考書 | 富山和彦・経営共創基盤『IGPI 流 経営分析のリアル・ノウハウ』PHP 研究所 2012年 小宮一慶『図解「ROE って何？」という人のための経営指標の教科書』PHP 研究所 2017年 池田正明『新版 企業価値を高める FCF マネジメント』中央経済社 2013年 |
| 評価方法 | 成果物（論文ファイル）を期末レポートとして評価する。 成果物の状況 40%、出席を含む授業への貢献度など 60%。 |
| その他 | |

YA21338b

| 年度 | 配当 | 区分 | 科目名 | 担当教員 | 回数 | 単位 |
|------|----|------|---------|------|----|----|
| 2021 | 後期 | 応用実践 | 会計学研究指導 | 山本宣明 | 15 | 2 |

授業の目的

本授業は財務分析の論文作成を進めるために実施されます。
 本授業と論文作成を通じて、いわゆる経営分析が遂行できる能力を養成することを目的としています。

授業の到達目標

前述の本授業の目的を達成するため、具体的には履修者各自との議論を通じて分析対象を確定し、データの作成→本論の作成→結論と序論の作成→全体の完成へと順次進むことを目標とします。租税法研究指導のマイルストーン管理と同じく、執筆プロセスを計画化して適宜フォローしていきます。

本授業は大きく分けて「本論クラス」と「完成クラス」に分かれます。

本論クラスの到達目標は論文の半分程度以上の作成、具体的には第4章までの作成を目指します。

完成クラスの到達目標は論文全体の完成となります。具体的には第5章、第6章、結論と序論となります。

履修条件

修士論文の作成・完成・合格は大変です。体調にくれぐれも気をつけながら履修をお願いします。

授業計画

| 回 | 授業内容 | 日程 |
|----|--|--------|
| 1 | 本論クラス：ガイダンス（進め方や発表の順番の決定） 完成クラス：初回から個別指導・協議 | （別途通知） |
| 2 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 3 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 4 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 5 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 6 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 7 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 8 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 9 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 10 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 11 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 12 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 13 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 14 | 各自の発表と議論 | （別途通知） |
| 15 | 各自の進捗状況を精査します。 | （別途通知） |
| 試験 | レポート | |

使用教科書／評価方法等

| | |
|------|--|
| 教科書 | 桜井久勝『財務諸表分析』第8版 中央経済社 2020年 林總『経営分析の基本』日本実業出版社 2015年 |
| 参考書 | 富山和彦・経営共創基盤『IGPI 流 経営分析のリアル・ノウハウ』PHP 研究所 2012年 小宮一慶『図解「ROE って何？」という人のための経営指標の教科書』PHP 研究所 2017年 池田正明『新版 企業価値を高める FCF マネジメント』中央経済社 2013年 |
| 評価方法 | 成果物（論文ファイル）を期末レポートとして評価する。 成果物の状況 40%、出席を含む授業への貢献度など 60%。 |
| その他 | |